



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月1日

上場会社名 イーグル工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,370	△5.7	1,889	△27.9	2,321	△32.6	1,244	△41.3
2019年3月期第1四半期	38,585	5.9	2,619	△19.6	3,442	△24.5	2,119	△26.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △298百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 1,276百万円 (△75.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	25.35	-
2019年3月期第1四半期	43.25	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	168,476	86,814	47.2	1,621.27
2019年3月期	172,433	88,886	47.4	1,665.52

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 79,580百万円 2019年3月期 81,752百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	25.00	-	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	73,700	△2.4	3,200	△36.1	4,200	△37.4	2,200	△46.9	44.82
通期	151,000	1.1	7,900	△19.0	9,900	△15.4	5,600	△20.4	114.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	49,757,821株	2019年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	672,574株	2019年3月期	672,283株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	49,085,341株	2019年3月期1Q	49,009,733株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済情勢は、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題で世界の主要市場において不確実性が高まる状況となりました。米国経済は引き続き好調ではありますが貿易摩擦を背景に先行き慎重な見方も出始め、中国では貿易環境の不安定化で投資の抑制、消費の減退が鮮明化、欧州でもほぼ全域で景況感が悪化することとなりました。また中東や東アジアでの地政学リスクは依然継続しており、特にイラン情勢では緊張感が増す状況となりました。

日本経済は比較的安定して推移しましたが、中国経済減速により製造業を始め幅広い業界で企業業績悪化の傾向が現われ、今後、実体経済への影響が懸念される状況となりました。

このような経済環境のもと、当社事業においても中国経済減速の影響は直接、間接に及ぼされ、特に自動車向け製品で販売が落ち込み、半導体業界向け製品においても回復が遅れ、全体として売上・利益とも前年を下回ることとなりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は363億70百万円(前年同期比5.7%減)、営業利益は18億89百万円(前年同期比27.9%減)、経常利益は23億21百万円(前年同期比32.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億44百万円(前年同期比41.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## [自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、自動車向け製品で中国市場が前年度に引き続き落ちこみが続いているのに加え、欧州市場も低迷するなど厳しい状況が続いていることにより、当セグメントの売上高は224億64百万円(前年同期比11.3%減)、営業利益は7億38百万円(前年同期比50.5%減)となりました。

## [一般産業機械業界向け事業]

当事業は、日本市場が堅調に推移したのに加え、インド及びアジア地区ではOEM及びプラント向けが堅調であり、当セグメントの売上高は84億31百万円(前年同期比17.1%増)、営業利益は10億70百万円(前年同期比35.3%増)となりました。

## [半導体業界向け事業]

当事業は、データセンターやメモリーメーカーの投資抑制の影響を受け、半導体市場全体が減速し、当セグメントの売上高は16億15百万円(前年同期比24.1%減)、営業損失は2億34百万円(前年同期は営業利益26百万円)となりました。

## [船用業界向け事業]

当事業は、新造船需要の低迷が続いているものの、修繕部品は緩やかな回復基調にあり、当セグメントの売上高は26億53百万円(前年同期比9.4%増)となりました。営業利益はプロダクトミックス等により2億5百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

## [航空宇宙業界向け事業]

当事業は、民間航空機向けエンジンシールやロケット用シールなどについて進捗遅れがあり、当セグメントの売上高は12億7百万円(前年同期比19.0%減)、営業利益は1億円(前年同期比4.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## [資産]

当第1四半期連結会計期間末の資産は1,684億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億57百万円減少いたしました。これは主として現金及び預金が24億72百万円、たな卸資産が6億88百万円減少したことによるものであります。

## [負債]

当第1四半期連結会計期間末の負債は816億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億86百万円減少いたしました。これは主として短期借入金が24億22百万円増加した一方、長期借入金が26億7百万円、買掛金が15億65百万円減少したことによるものであります。

## [純資産]

当第1四半期連結会計期間末の純資産は868億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億71百万円減少いたしました。これは主として為替換算調整勘定が19億3百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、主に自動車向け製品及び半導体業界向け製品市場の落ち込みが続き、販売が減少する見込みであり、それに伴い営業利益も減少する見込みであることから、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」に公表しました連結業績予想を下記のとおり修正しました。

## 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 76,200	百万円 4,000	百万円 5,100	百万円 3,100	円 銭 63.16
今回修正予想(B)	73,700	3,200	4,200	2,200	44.82
増減額(B-A)	△2,500	△800	△900	△900	—
増減率(%)	△3.3	△20.0	△17.6	△29.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期(累計))	75,546	5,006	6,714	4,142	84.48

## 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 155,000	百万円 10,000	百万円 12,000	百万円 7,300	円 銭 148.72
今回修正予想(B)	151,000	7,900	9,900	5,600	114.09
増減額(B-A)	△4,000	△2,100	△2,100	△1,700	—
増減率(%)	△2.6	△21.0	△17.5	△23.3	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	149,361	9,755	11,703	7,032	143.35

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,349	18,877
受取手形及び売掛金	28,669	28,482
電子記録債権	2,902	2,968
商品及び製品	7,158	6,655
仕掛品	7,686	5,689
原材料及び貯蔵品	7,201	9,013
その他	6,867	6,894
貸倒引当金	△90	△78
流動資産合計	81,744	78,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,894	22,800
機械装置及び運搬具(純額)	23,481	24,641
その他(純額)	18,237	16,017
有形固定資産合計	63,614	63,460
無形固定資産		
のれん	2,726	2,582
その他	2,874	2,738
無形固定資産合計	5,601	5,320
投資その他の資産		
投資有価証券	13,476	13,165
その他	8,105	8,137
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	21,473	21,193
固定資産合計	90,688	89,974
資産合計	172,433	168,476

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,945	6,380
電子記録債務	2,907	2,873
短期借入金	14,505	16,927
未払法人税等	2,059	1,100
賞与引当金	2,509	1,838
その他の引当金	6	10
その他	11,521	13,197
流動負債合計	41,456	42,328
固定負債		
長期借入金	23,391	20,784
引当金	318	318
退職給付に係る負債	16,681	16,605
その他	1,700	1,623
固定負債合計	42,091	39,332
負債合計	83,547	81,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,310	11,310
利益剰余金	66,708	66,308
自己株式	△224	△224
株主資本合計	88,285	87,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	470	430
為替換算調整勘定	△2,414	△4,318
退職給付に係る調整累計額	△4,588	△4,417
その他の包括利益累計額合計	△6,532	△8,304
非支配株主持分	7,133	7,234
純資産合計	88,886	86,814
負債純資産合計	172,433	168,476

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	38,585	36,370
売上原価	29,223	28,249
売上総利益	9,361	8,121
販売費及び一般管理費	6,741	6,231
営業利益	2,619	1,889
営業外収益		
受取利息	64	53
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	664	651
その他	234	178
営業外収益合計	973	895
営業外費用		
支払利息	79	105
為替差損	31	294
寄付金	0	0
その他	39	63
営業外費用合計	150	463
経常利益	3,442	2,321
特別利益		
固定資産売却益	6	2
特別利益合計	6	2
特別損失		
固定資産売却損	2	8
固定資産除却損	7	50
債務保証損失引当金繰入額	5	—
特別損失合計	15	59
税金等調整前四半期純利益	3,434	2,265
法人税等	975	634
四半期純利益	2,458	1,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	338	386
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,119	1,244

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,458	1,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	△39
為替換算調整勘定	△960	△1,565
退職給付に係る調整額	183	165
持分法適用会社に対する持分相当額	△346	△489
その他の包括利益合計	△1,182	△1,929
四半期包括利益	1,276	△298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	995	△527
非支配株主に係る四半期包括利益	280	229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

従来、商品及び製品は主として先入先出法、原材料及び貯蔵品は主として移動平均法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、主として総平均法に変更いたしました。この評価方法の変更は、基幹業務システムの導入を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	25,339	7,201	2,128	2,424	1,490	38,585	—	38,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	31	—	4	—	72	△72	—
計	25,376	7,232	2,128	2,429	1,490	38,657	△72	38,585
セグメント利益	1,490	791	26	208	105	2,622	△2	2,619

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）  
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	22,464	8,431	1,615	2,653	1,207	36,370	—	36,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37	28	—	1	—	68	△68	—
計	22,501	8,460	1,615	2,654	1,207	36,439	△68	36,370
セグメント利益又は損失（△）	738	1,070	△234	205	100	1,880	8	1,889

- (注) 1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より経営管理区分を見直し、報告セグメントを従来の「自動車・建設機械業界向け事業」、「一般産業機械・半導体業界向け事業」、「船用業界向け事業」及び「航空宇宙業界向け事業」の4区分から「自動車・建設機械業界向け事業」、「一般産業機械業界向け事業」、「半導体業界向け事業」、「船用業界向け事業」及び「航空宇宙業界向け事業」の5区分に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの区分により組み替えて表示しております。